

# いつも生徒を想い、生徒に寄り添う、穏やかな先生

10月20日(木)、英語科の白玉慎二先生が授業を公開しました(1年6組)。本時は、好きな理由について、WhyやBecauseなどの英語を使って伝え合うことが目的です。白玉先生のたくさんのイイねを、パティの田港佳奈先生が紹介します。



## イイね① 【授業後の期待する生徒の姿】

生徒はWhyで理由を尋ね、Becauseを使って答えるなど、本時のねらいが達成されていた。

## イイね② 【生徒が学びに向かう姿は見られたか?】

教師がすべてお膳立てするのではなく、既習事項を生徒から引き出し、使わせ(speaking)、書かせる活動がデザインされていて、生徒が必然的に学びに向かう姿が見られた。

## イイね③ 【生徒が思考をOutputする場面の設定】

生徒が自分で考えた質問を歩き回って尋ねたり、why?を使って質問したりする活動があった。また、横ペアで伝え合う活動を設けた後、答えた内容を、学習した文法を使って記述する場面設定があった。

## イイね④ 【キャリア教育 か・ふ・や・みの視点】

教師が説明しても集中できずに何度も同じ質問をする生徒がいたが、プログラム語の単元テストを意識して粘り強く活動する姿も見られた。ペア活動においても、しっかり英語でリアクション&コミュニケーションをとっており、「かかわる力」が育まれていた。

## ① 魅力的な課題の提示

**場面:**南星中の友だちと写メを見ているとき、あなたのクラスの友だちの話題になりました。あなたの友だちを知ってもらうためにやりとりしながら紹介してみましょう!

## ② インタラクティブな対話による「めあて」の設定

### Program5 Goal

自分の身近な人物について理由を含め紹介することができる



### Today's Goal

好きな理由について伝え合うことができる

## ③ 対話活動の充実 (私は BTS が好きです、なぜなら...)



## ④ 視点を与え新たな問いを生み出す場面

**場面:** Joel先生にペアの友だちを紹介することになりました。紹介するためにペアに好きな○○とその理由をきいてペアの情報を集めよう!



図1 本時の授業×問いサポ P.32

## 【問いサポ P.32】 英語科において、児童・生徒が将来の自律的な学習者となるように

教室で学習した後も、「この場合にはどうなるのだろうか?」「どう表現すればいいだろうか?」等、常に新しい「問い」をもつ児童・生徒の育成をめざし、辞書指導(中学校)や授業と連動した宿題の提示を心掛けましょう。